

視点2 目標と成果指標

《目標》運動嫌いをなくし、主体的に運動する子供の育成

令和5年度の体力・運動能力調査の総合評価「D」「E」を合わせた割合を減らす：20%未満

	「運動に対する意識」に関する成果指標	「運動習慣」に関する成果指標
評価方法	学期末の児童アンケート	学期末の児童アンケート
成果指標	進んで運動に取り組める児童の割合 <u>80%</u> 以上	「1日の運動時間が1時間以上」の割合 <u>70%以上</u>
評価	1回目・10月 (80%) 2回目・2月 (85%)	1回目・10月 (70%) 2回目・2月 (80%)

視点4 「1校1取組」運動名

運動名：共遊タイム

視点3 今年度の重点的取組と指標

体育・保健体育科授業における取組	取組指標	体育・保健体育科授業以外の取組	取組指標
<ul style="list-style-type: none"> ・体育科の学習では、主運動の時間を確保する。(目安：30分以上) ・スモールステップで「できた体験」をさせ、次のステップへの意欲を高める授業づくりを行う。 ・授業の始めの準備運動に柔軟体操を取り入れる。 	毎時間実施	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会に柔軟運動をする時間を取り入れる。 	週3回実施
	毎時間実施	<ul style="list-style-type: none"> ・スポコン広場登録・参加 	全学級
	毎時間実施	<ul style="list-style-type: none"> ・握力コーナー(ハンドグripper)の設置。 ・体力アップシートの活用をし、自己の目標達成に向け取り組む。 	継続的に実施 活用率 100%

視点1 子供の実態分析

体力・運動能力に関する課題

- ・長座体前屈、50m走が全国平均を下回っている。→全国平均以上を目指す。
- ・D・E群の児童の割合が約23%。→D、E群を3%減らす。

「運動に対する意識」に関する課題

- ・外遊びを好む児童は多いが、遊びの内容の固定化が見られる。
- ・声掛けを行わないと外遊びに行かない児童がいる。
- ・気候によって遊びに行かない児童が見られる。

「運動習慣」に関する課題

- ・運動習慣の二極化が見られる。
- ・1日の運動時間が1時間未満の児童の割合が約32%いる。
- ・1週間に運動する日数が2日以下の児童の割合が56%いる。

《要因》(体育・保健体育科の授業や授業以外の取組から)

- ・1日のスマホ・TVの視聴時間が1時間以上の児童の割合が約78%。
- ・体育・保健体育科授業において主運動の時間の確保が不十分。